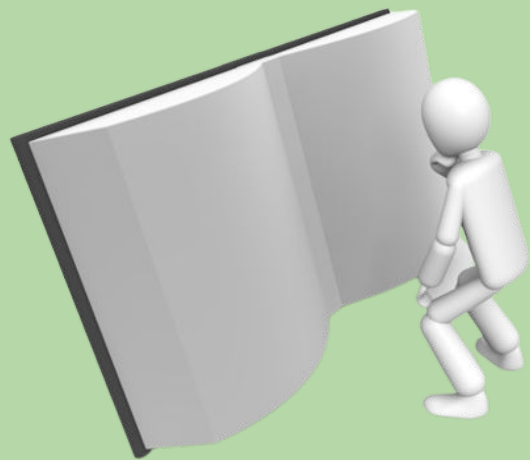




学会発表の すゝめ

群馬県理学療法士協
会学術局 学会部

この資料 の目的



学会発表したことがある方もない方も

「発表しようかな！」と

演題登録に向けて一歩踏み出して欲しい

という願いを込めて作成しました

2025年 第32回 「温故知新」

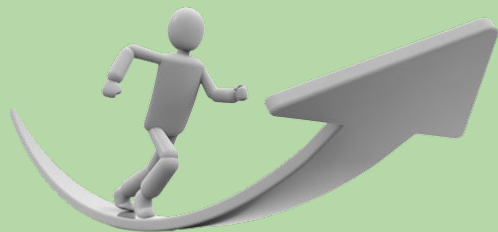
2024年 第31回
「衣鉢相伝～技能(ワザ)の伝承～」**46題**

2023年 第30回
「為せば成る NEXT INNOVATION」**46題**

2022年 第29回
「本質を知る～明日の臨床を変える第歩～」**45題**

2021年 第28回
「理学療法士の明るい未来へ共和と意思決定」**41題**

学会発表 はすべき？



✓ こんな悩み、不安を抱えている人はいませんか？

- ・ 普段行っている臨床で正しいことができていないのか分からない
- ・ 所属する施設で行われている理学療法は、他施設の方から見るとどう映るのだろうか
- ・ 所属する施設以外の人からも意見を聞きたいけど、繋がりが無い



学会への参加や発表をすることで
解決の糸口が得られるかも？



例えば....

- ・ 同じ悩みを抱えているPTが意外と多いことを知る

→ 共に研鑽する仲間を増やす

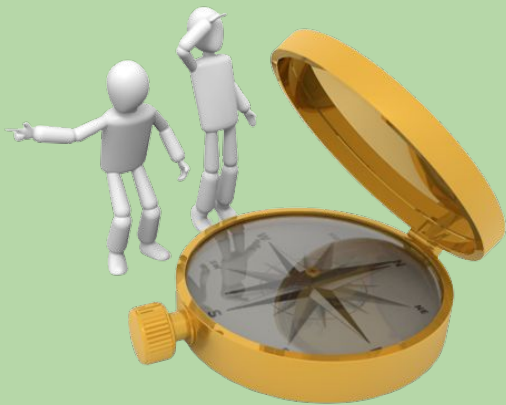


- ・ 様々な経験年数のPTやその分野の専門家から助言を得る

→ 明日からの臨床のヒントが得られる



学会発表 をした PTの体験談



なんとか先輩に助けを頼み込み、2年目の時に初めて
県学会で発表をしました。

手が震えるほど緊張しながら口述発表をしました、
他施設の大先輩から建設的な助言や、
研究に対する姿勢への肯定的な意見をいただき、
学会発表特有の達成感や喜びを得ることができました。

今思うととても拙い発表でしたが、この時の喜びを
糧に、今でも継続して発表しています！（PT14年目）



発表の 題材



演題はこれまで未発表であれば自由！！

演題募集要項をチェック

※青字部分をクリックするとリンクのページに接続可能です。

稀な
症例

奏功した
症例

難渋した
症例

基礎研究

臨床研究

病院の
取り組み

参考になる 資料



研究デザインに沿ったガイドライン

※青字部分をクリックすると、リンクのページに接続可能です。

症例報告 ▶ [CARE\(日本語版\)](#)

症例研究 ▶ [SCRIBE](#)

観察研究 ▶ [STROBE\(日本語版PDF\)](#)

尺度研究 ▶ [COSMIN](#)

作成メソッドをまとめた資料

抄録・スライド作成

▶ [島根県理学療法士学会](#)

症例報告・研究論文の書き方

▶ [若手理学療法士のための
症例報告と原著の書き方](#)

ちょこっと+α
おすすめの英文翻訳サイト
[DeepL\(無料\)](#)
論文やガイドラインを自分で
読むために使用するには十分な
クオリティです。

演題登録時の 注意点

演題募集
締め切りは

8月31日

倫理的配慮

- ・患者さんからの同意が得られているか？
- ・倫理審査委員会の承認が得られているか？

抄録の作成

- ・演題募集要項をよく確認し作成する

抄録の推敲

- ・声に出して読んでみる
- ・(可能なら)職場の人にチェックしてもらう

最終チェック

- ・誤字脱字は無いかな？
- ・演題募集要項に沿っているかな？
- ・メールアドレスにミスは無いかな？

演題登録！

最後に



- ・勇気を持って参加してみるだけでも**新しい出会いや発見** がきっとあると思います。
- ・私たちは学術の場での建設的な議論の先に**群馬県の理学療法の実現** があると信じております。
- ・当日はお1人の参加でも心配事がないよう、学会部の部員や準備委員がサポートします。
お力になれることがありましたら、
当日、遠慮なくお声かけください。
- ・皆様のご参加をお待ちしております！

A light gray map of Gunma Prefecture, Japan, is centered in the background. The map shows the prefecture's irregular shape and its internal municipal boundaries. The bottom portion of the image, behind the text, is a solid light green color.

**Let's go to the
GPTA academic conference!**

多くの演題登録、参加をお待ちしております
群馬県理学療法士協会 学術局 学会部